

企業景況

1 『法人企業景気予測調査』（財務省福岡財務支局調査結果）

(1) 福岡県の企業景況判断（平成29年7～9月期）

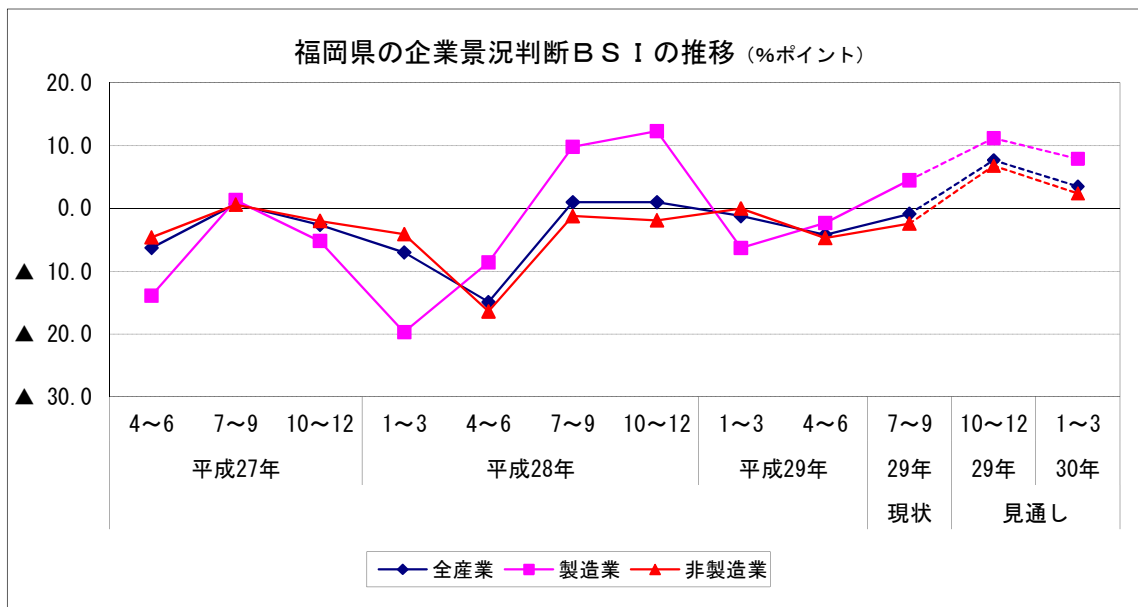
全産業 : 「下降」超幅が縮小している
 製造業 : 「上昇」超に転じている
 非製造業 : 「下降」超が縮小している

(原数値)

(%ポイント)

法人企業景気予測調査			景況判断BSI（福岡県）			景況判断BSI（北部九州3県）			
			全産業	業種別		全産業	規模別		
				製造業	非製造業		大企業	中堅企業	中小企業
平成27年 (2015)	4～6月期	実績	▲ 6.3	▲ 13.9	▲ 4.6	▲ 7.8	0.7	▲ 10.6	▲ 9.9
	7～9月期		0.7	1.3	0.6	2.2	8.6	3.0	▲ 0.9
	10～12月期		▲ 2.6	▲ 5.2	▲ 2.0	▲ 0.9	8.6	1.2	▲ 6.0
平成28年 (2016)	1～3月期	実績	▲ 7.0	▲ 19.7	▲ 4.1	▲ 6.4	▲ 0.7	▲ 6.1	▲ 8.9
	4～6月期		▲ 14.9	▲ 8.6	▲ 16.4	▲ 17.3	▲ 15.6	▲ 22.7	▲ 14.9
	7～9月期		1.0	9.8	▲ 1.2	▲ 1.1	7.4	3.4	▲ 7.9
平成29年 (2017)	10～12月期	実績	1.0	12.3	▲ 1.9	2.7	2.7	6.8	0.3
	1～3月期		▲ 1.2	▲ 6.3	0.0	▲ 2.4	0.7	▲ 0.6	▲ 5.0
	4～6月期		▲ 4.2	▲ 2.3	▲ 4.7	▲ 5.2	▲ 3.3	▲ 5.2	▲ 6.2
平成30年	7～9月期	現状	▲ 0.9	4.5	▲ 2.4	0.0	2.6	9.2	▲ 6.8
	10～12月期		7.7	11.2	6.8	6.4	5.9	8.7	5.2
	1～3月期		3.5	7.9	2.4	2.3	1.3	2.2	2.9

※BSI = 「上昇」 - 「下降」社数の構成比



注) 調査の概要

- 調査の目的 我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見直しに関する基礎資料を得ることを目的として、統計法に基づく一般統計調査として実施。
- 調査方法 対象企業に調査票を郵送、またはオンラインにより自計記入を求める方法による。
- 調査時点 平成29年8月15日
- 対象企業数 北部九州3県（福岡県、佐賀県、長崎県）に所在する資本金1千万円以上（ただし、電気・ガス・水道業及び金融業、保険業は資本金1億円以上）の企業。
 対象企業：714社（うち、大企業（資本金10億円以上）154社、中堅企業（1億円以上～10億円未満）202社、中小企業（1千万円以上～1億円未満）が358社）。
 製造業 179社 非製造業 535社
- 回収企業数 大企業152社（回収率98.7%）、中堅企業184社（同91.1%）、中小企業309社（同86.3%）
 回収企業 645社 《うち福岡県分 426社（製造業 89社 非製造業 337社）》

企業景況

2 『中小企業景況調査』（中小企業基盤整備機構調査結果）

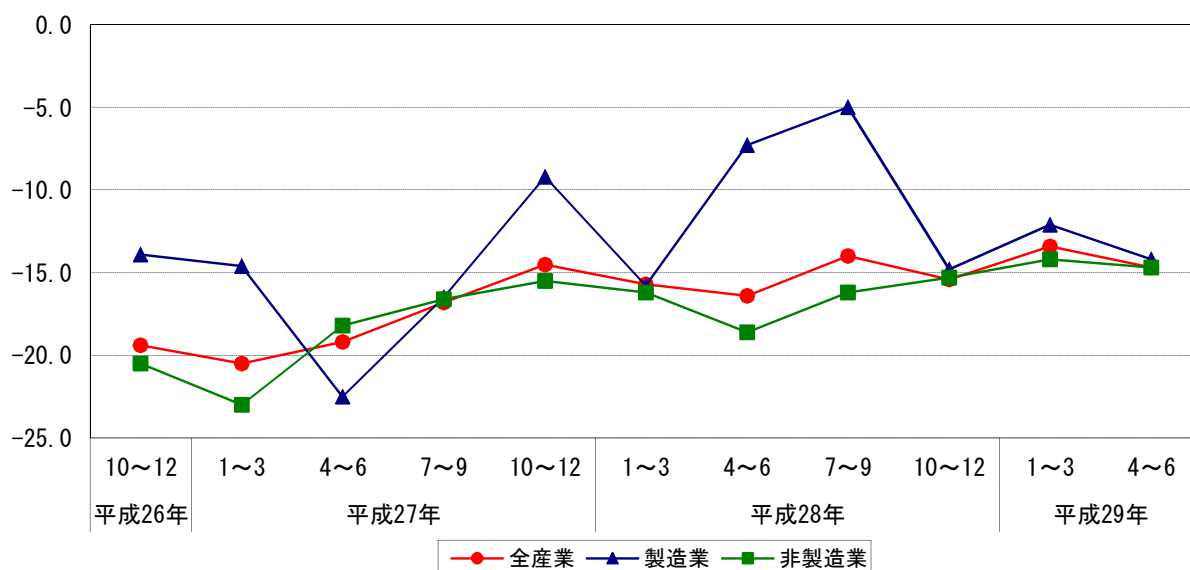
(1) 中小企業の業況判断D I（平成29年4～6月期）

ア 全産業 ▲14.7、前期から1.3ポイント マイナス幅が拡大
 イ 製造業 ▲14.2、前期から2.1ポイント マイナス幅が拡大
 非製造業 ▲14.7、前期から0.5ポイント マイナス幅が拡大

前期比(季節調整値)

		全産業	製造業	非製造業
平成26年	10～12月期	▲19.4	▲13.9	▲20.5
	1～3月期	▲20.5	▲14.6	▲23.0
平成27年 (2015)	4～6月期	▲19.2	▲22.5	▲18.2
	7～9月期	▲16.8	▲16.5	▲16.6
	10～12月期	▲14.5	▲9.2	▲15.5
平成28年 (2016)	1～3月期	▲15.7	▲15.8	▲16.2
	4～6月期	▲16.4	▲7.3	▲18.6
	7～9月期	▲14.0	▲5.0	▲16.2
	10～12月期	▲15.4	▲14.8	▲15.3
平成29年 (2017)	1～3月期	▲13.4	▲12.1	▲14.2
	4～6月期	▲14.7	▲14.2	▲14.7

管内中小企業の業況判断D Iの推移



資料：第148回中小企業景況調査（2017年4-6月期）結果から、福岡県分を使用

- 1) 調査時点 平成29年6月1日
- 2) 対象期間 平成29年4-6月期の業況判断
- 3) 調査対象 中小企業基本法に定義する、全国の中小企業

企業景況

3 『福岡県中小企業動向調査(小企業編)』 (日本政策金融公庫福岡支店調査結果)

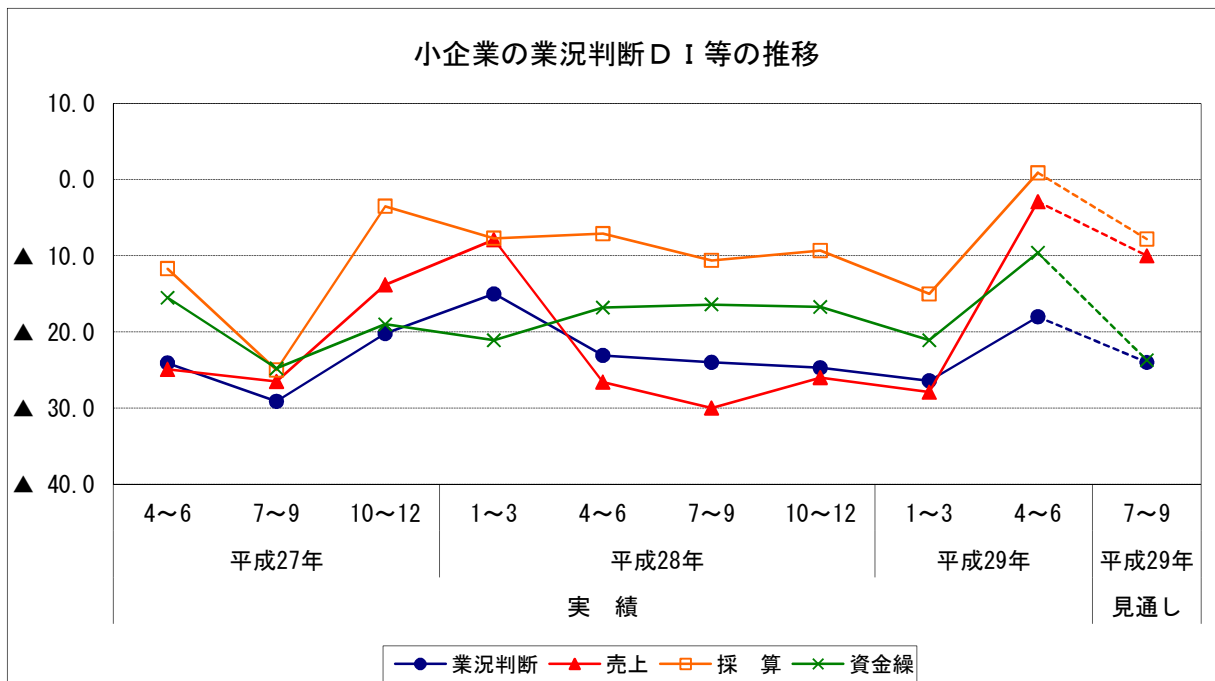
(1) 平成29年4～6月期の概況

前期に比べ、業況判断DIは8.4ポイント上昇し、売上DIは25.0ポイント上昇した。

(2) 平成29年7～9年月期の見通し

今期に比べ、業況判断DIは6.0ポイント低下し、売上DIは7.1ポイント低下する見通しとなっている。

		業況判断	売上	採算	資金繰
平成27年 (2015)	4～6月期	▲ 24.1	▲ 24.9	▲ 11.7	▲ 15.5
	7～9月期	▲ 29.1	▲ 26.5	▲ 25.0	▲ 24.8
	10～12月期	▲ 20.2	▲ 13.8	▲ 3.5	▲ 19.0
平成28年 (2016)	1～3月期	▲ 15.0	▲ 7.9	▲ 7.7	▲ 21.1
	4～6月期	▲ 23.1	▲ 26.6	▲ 7.1	▲ 16.8
	7～9月期	▲ 24.0	▲ 30.0	▲ 10.6	▲ 16.4
平成29年 (2017)	10～12月期	▲ 24.7	▲ 26.0	▲ 9.3	▲ 16.7
	1～3月期	▲ 26.4	▲ 27.9	▲ 15.0	▲ 21.1
	4～6月期	▲ 18.0	▲ 2.9	0.9	▲ 9.6
	7～9月期	▲ 24.0	▲ 10.0	▲ 7.8	▲ 23.7



注) 調査の概要

1) 調査時点 平成29年6月中旬

2) 調査対象 日本政策金融公庫福岡県内5支店取引先376企業

3) 有効回答数 221企業 (有効回答率58.8%)

製造業 (従業員20人未満) 24企業、卸売業 (同10人未満) 22企業、小売業 (同10人未満) 60企業、飲食店・宿泊業 (同10人未満) 32企業、サービス業 (同20人未満) 47企業、建設業 (同20人未満) 32企業、その他 (同20人未満) 4企業

企業景況

4 『九州の経営動向調査』（西日本シティ銀行調査結果）

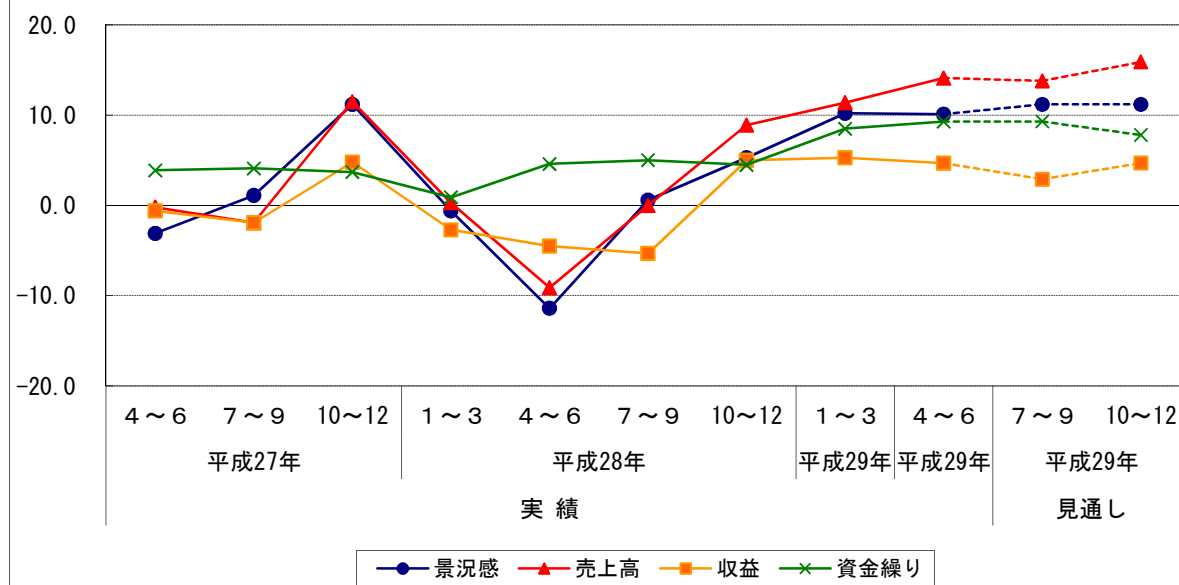
(1) 平成29年4～6月期の概況（前回調査比）

- ア 景況感： 0.1ポイント悪化、「好転」超幅が縮小した。
- イ 売上高： 2.7ポイント改善、「増加」超幅が拡大した。
- ウ 収益： 0.6ポイント悪化、「増加」超幅が縮小した。
- エ 資金繰り： 0.8ポイント改善、「好転」超幅が拡大した。

(単位：%)

			景況感	売上高	収益	資金繰り
平成27年 (2015)	4～6月期	実績	▲ 3.1	▲ 0.2	▲ 0.6	3.9
	7～9月期		1.1	▲ 1.9	▲ 1.9	4.1
	10～12月期		11.2	11.5	4.8	3.7
平成28年 (2016)	1～3月期		▲ 0.6	0.3	▲ 2.7	0.9
	4～6月期		▲ 11.4	▲ 9.1	▲ 4.5	4.6
	7～9月期		0.6	0.0	▲ 5.3	5.0
平成29年 (2017)	10～12月期		5.3	8.9	5.0	4.5
	1～3月期		10.2	11.4	5.3	8.5
	4～6月期		10.1	14.1	4.7	9.3
	7～9月期	11.2	13.8	2.9	9.3	
	10～12月期	見通し	11.2	15.9	4.7	7.8

九州の企業景況感B S I等の推移



注) 調査の概要

- 1) 調査対象：株式会社西日本シティ銀行の主要取引先683社（今回の回答社数384社，回答率56.2%）
地域別回答企業：福岡県325社（構成比84.6%）、福岡県外九州各県59社（同15.4%）
- 2) 調査方法：アンケート方式
- 3) 調査時期：平成29年6月1日

※景況動向はB S I方式で表示：B S Iとは、「好転・増加・上昇」（前年同期比）の企業割合から「悪化・減少・下落」の企業割合を差し引いた指標。

